

宮古島（狩俣部落）の祖神祭（ウヤガン）

宮古島（狩俣部落）の祖神祭（ウヤガン）については素晴らしいホームページがある。

<http://blogs.yahoo.co.jp/irabunchu2006/folder/1596736.html?m=lc&p=2>

以下はその紹介である。

神の島と呼ばれた久高島をはじめ、沖縄の島々に息づく「まつり」の世界。人々は昔から、海のかなたから神がやってくると信じ、神とのつながりを大切に生きてきました。そんな島の精神を記録し続けた人が、沖縄の写真家・比嘉康雄(1934-2000)です。彼は久高島のイザイホーや宮古島のウヤガンなど、今では失われつつある祭祀を撮影し、えもいわれぬ神々しさで、沖縄の心のルーツに深く迫ろうとしました。

今回から彼の記録し続けてきた祭祀の写真を掲載したいと思います。沖縄に生きるとは何かを皆さんも考えてみて下さい。

最初は狩俣のウヤガン（祖神祭）の様子です。ウヤガンとは、大神島や宮古島の狩俣、島尻で行われる豊年祈願です。地域によって旧暦の6月から12月の間に行われます。

50歳以上の女性達が黒の装束をまとい、神に祈りを捧げるもので、神事は男性禁制、祭祀に関係のある女性以外は寄せ付けない秘祭です。

祭儀の大要は厳しい籠り儀式を経て女神役達が最高の祖先神として登場し、村落を祓い清め、豊饒を与えて去っていくというものです。

現人神であるウヤガン達を正面から見たり、出会ったりしてはいけないという伝承があるそうです。



宮古島狩俣 ウヤガン



宮古島狩俣 ウヤガン



宮古島狩候 ウヤガン

